



令和7年11月21日

【照会先】

大分労働局 労働基準部

健康安全課長 金田 博幸

課長補佐 原田 英一

電話 097-536-3213

報道関係者 各位

「年末年始無災害運動」が始まります**～「年末」感謝の総点検「年始」も笑顔で 無事故の発進～**

大分労働局（局長 秋山 雅紀）は、令和7年12月1日から令和8年1月15日までの期間、「Safe Work OITA 令和7年度年末年始無災害運動」を展開し、大分県内における年末年始の労働災害防止に取り組みます。

1 趣旨

大分県の過去20年の死亡労働災害をみると、年末年始に59人が亡くなっています。また、1年の中で12月が最も多くなっています。（詳細は別添参照）

年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増大します。そのため、各事業場においては、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの順守、非定常作業における安全確認の徹底などに全員で取り組むことが一層重要になります。

そこで、本年度の年末年始無災害運動は、「『年末』感謝の総点検『年始』も笑顔で無事故の発進」をスローガンとして展開します。

2 実施期間

令和7年12月1日から令和8年1月15日まで

3 実施者

県下事業場、労働災害防止団体、
事業者団体、公共建設工事発注機関

4 大分労働局、労働基準監督署の実施事項

- (1) 労働局長による安全パトロール
(12月2日、大分市で実施。別途発表予定)
- (2) 労働災害防止団体、事業者団体、
公共建設工事発注機関に対する文書要請
- (3) 労働災害防止団体等との合同安全パトロール
- (4) ホームページ、報道機関等を通じての周知
- (5) リーフレット、のぼり（右）等の頒布
- (6) 集中的な監督指導、安全パトロール

(別添「年末年始無災害運動実施要領」参照)





年末年始無災害運動 実施要領

12月1日 ▶▶▶ 1月15日

1 趣旨

大分県内における労働災害は長期的には減少しているものの、近年は増減を繰り返しながら増加傾向にある。令和6年の労働災害発生状況は、休業4日以上の死傷者1,370人（対前年比+23人、+1.7%）、死者10人となった。

こうした状況の中で、特に年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増すことになる。

大分県の令和6年度の年末年始期（R6.12.1～R7.1.31）の労働災害の発生状況を見ると、死傷者は195人（製造業33人、建設業21人、第三次産業116人、その他25人）となった。さらに、大分県で過去20年間に発生した死亡労働災害を月別にみると、12月が最も多く32人が犠牲になっている。

（裏面のグラフ参照）

このため、年末年始は、各事業場において、非定常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、安全衛生保護具の点検の実施、感染症予防を含めた労働者の健康状態の確認などに労使一体となって取り組むことが、より一層重要となる。

このような状況を踏まえ、本年度の年末年始無災害運動は、

「年末」感謝の総点検

「年始」も笑顔で 無事故の発進

を標語として展開することとする。

2 開催期間

令和7年12月1日から令和8年1月15日まで

3 主唱者

大分労働局

4 実施者

県下の事業場
労働災害防止団体



5 主唱者の実施事項

- ① 労働局長による安全パトロール
- ② 労働災害防止団体、事業者団体、公共工事発注機関に対する文書要請
- ③ ホームページ、報道機関等を通じての周知
- ④ リーフレット、のぼり等の頒布
- ⑤ 集中的な監督指導、安全パトロール

6 災害防止団体等の実施事項

- ① 本運動の会員事業場への周知、徹底
- ② 各種労働災害防止用リーフレット、のぼり等の配布
- ③ 安全大会の開催や安全パトロール

7 事業場の実施事項

- (1) 年末年始に実施する事項
 - ① 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
 - ② 安全衛生パトロールの実施
 - ③ 機械設備に係る一斉検査及び作業前点検の実施
 - ④ 年末時期の大掃除等を契機とした4Sの徹底、掲示や旗の掲げ替え
 - ⑤ 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
 - ⑥ 年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示
- (2) 年末年始に実施状況を確認する事項
 - ① KY（危険予知）活動を活用した非定常作業における労働災害防止対策の徹底
 - ② 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検と整備・更新
 - ③ 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
 - ④ 転倒、墜落・転落、はざまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
 - ⑤ 火気の点検、確認など火気管理の徹底
 - ⑥ 交通労働災害防止対策の推進
 - ⑦ 過重労働をしない・させない職場環境づくり
 - ⑧ 高年齢労働者を含めた身体機能の維持向上のための健康づくり、健康的な生活習慣（睡眠、食事、運動等）に関する健康指導などの実施
 - ⑨ 感染症拡大防止対策の徹底
 - ⑩ 職場のハラスマント防止につながる取り組みの推進
 - ⑪ 自然災害等に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
 - ⑫ 安全衛生旗の掲揚、その他安全衛生意識高揚のための活動の実施



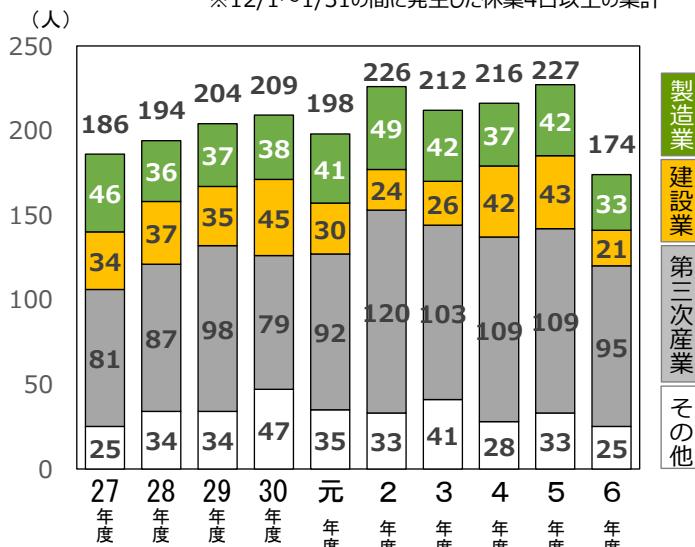
大分県の労働災害発生状況

※出典は労働者死傷病報告及び死亡災害報告。
※新型コロナウイルスリスリ患者を除く。

過去10年

年末年始の労働災害 | 全産業

※12/1~1/31の間に発生した休業4日以上の集計

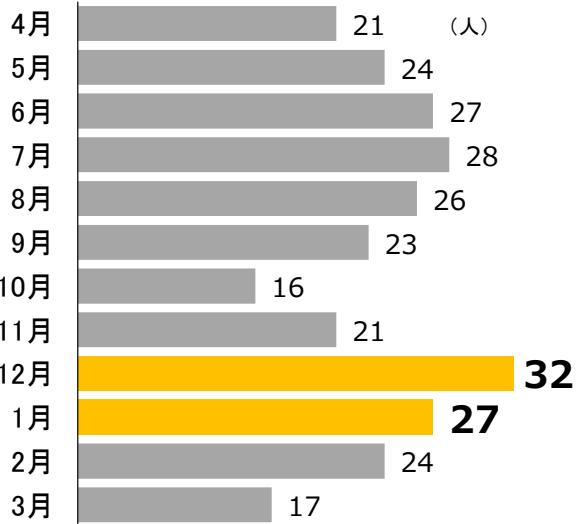


☞ 年末年始の死傷者数は、増減を繰り返しています。

☞ 令和6年度の数値は速報値です。

過去20年

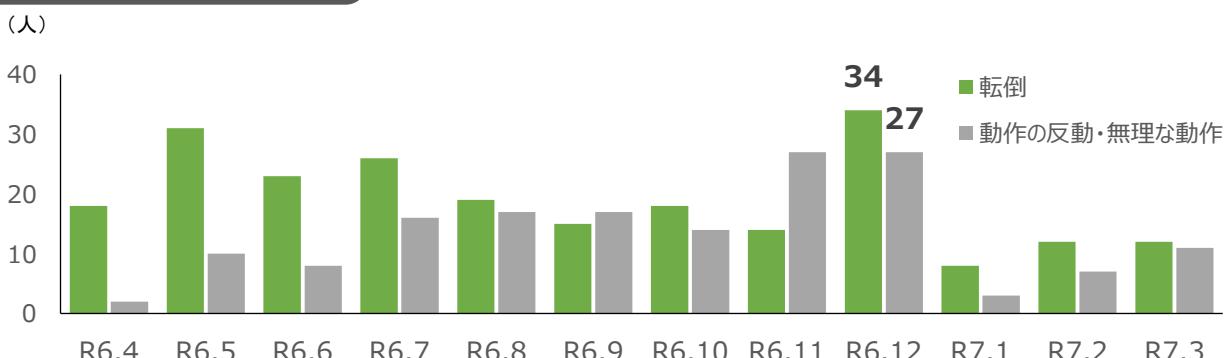
月別死亡労働災害 | 全産業



☞ 過去20年の年末年始期間中、労働災害により59人が亡くなっています。

☞ 12月は1年の中で、最も多くの死亡労働災害が発生しています。

令和6年4月～令和7年3月 行動災害 (労働者の作業行動に起因する労働災害) の発生状況 | 全産業



☞ 令和6年度に発生した行動災害(転倒災害及び動作の反動・無理な動作による労働災害)を月別に分けると、12月が最多となりました。積雪や凍結による転倒や物流量の増加による荷役作業機会の増加などが原因と考えられます。

令和7年 死亡労働災害一覧 | 全産業

※令和7年11月10日現在

No.	発生月 時間帯 業種	性別	職種	経験	災害発生状況			
					事故の型			
					起因物			
1	2月	男	作業員	0か月	国道をトラックで走行中、緩やかな下り右カーブでガードレールを超えて、約10m下の河川敷にトラックとともに転落したもの。			
	4時台	交通事故(道路)						
	道路貨物運送業	トラック						
2	4月	男	伐採夫	12年	山林において、チェーンソーを用いて立木の伐採作業に従事していたところ、伐倒木が激突したもの。			
	14時台	激突され						
	林業	立木等						
3	4月	男	現場代理人	11年	マンションの修繕工事現場において、屋上で調査を行っていたところ、約40m下の地面に墜落したもの。			
	18時台	墜落・転落						
	建設業	建築物等						
4	10月	男	とび工	2年	マンションの修繕工事現場において、足場の組立て作業を行っていたところ、約19m下の地面に墜落したもの。			
	9時台	墜落・転落						
	建設業	足場						

セーフワーカーおおいた 令和7年度

年
末
年
始

無 災 幸 運 動



2025
12/1 → 2026
1/15

「年末」感謝の総点検

「年始」も笑顔で 無事故の発進

大分労働局
労働基準監督署